

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年11月2日(2017.11.2)

【公表番号】特表2016-531872(P2016-531872A)

【公表日】平成28年10月13日(2016.10.13)

【年通号数】公開・登録公報2016-059

【出願番号】特願2016-517505(P2016-517505)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/5575 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/137 (2006.01)

A 6 1 K 31/4174 (2006.01)

A 6 1 K 31/4164 (2006.01)

A 6 1 K 31/165 (2006.01)

A 6 1 K 31/498 (2006.01)

A 6 1 K 8/365 (2006.01)

A 6 1 K 8/37 (2006.01)

A 6 1 Q 17/04 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/5575

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 43/00 1 1 2

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/137

A 6 1 K 31/4174

A 6 1 K 31/4164

A 6 1 K 31/165

A 6 1 K 31/498

A 6 1 K 8/365

A 6 1 K 8/37

A 6 1 Q 17/04

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月25日(2017.9.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プロスタグランジンF2 (PGF2 )、PGF2 類似体、又はその組み合わせを含んでなる、ヒトの委縮性皮膚瘢痕を治療するための局所投与用医薬組成物。

【請求項 2】

前記PGF2 類似体がラタノプロスト、トラボプロスト、ピマトプロスト、又はタフルプロストである、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

前記PGF2 及びPGF2 類似体の濃度が、前記組成物の約0.001質量%～0.20質量%である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

さらにUVA/UVBサンスクリーンを含む、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

前記UVA/UVBサンスクリーンが、10～75+のSPF範囲又は2+～8+のUVA保護グレード範囲のいずれかを有する、請求項 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

1若しくは 2アドレナリン作動薬類似体又はその医薬的に許容できる塩、及びその組み合わせをさらに含む、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

前記 1若しくは 2アドレナリン作動薬類似体が、オキシメタゾリン、テトラヒドロゾリン、ネファゾリン、キシロメタゾリン、フェニレフェリン、メトキシアミン、メフェンテルミン、メタラミノール、デスグリミドリン、ミドリン、又はプリモニジンである、請求項 6 の医薬組成物。

【請求項 8】

さらに保湿剤を含む、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

徐放ビヒクル製剤である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記徐放ビヒクル製剤がリボソーム、ナノ球体、ゲル、軟膏、又はエマルションである、請求項 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

経皮コラーゲン誘導療法、切除レーザー治療、非切除レーザー治療、皮膚切除療法、ヒト羊膜移植片の適用、ケミカルピール、半閉塞性シリコーンベース軟膏、ゲル若しくはシート又は他の弾性圧迫包帯の適用、トリクロロ酢酸の適用、皮膚充填剤の注入、又は委縮性瘢痕領域への自家線維芽細胞の移植術の前、その最中又はその後に投与するための、請求項 1 に記載の医薬組成物。